

最 低 賃 金

UP

だれでも、どこでも、
時給1000円以上に。



「時給1000円以上に!」…これが私たちのめざす最低賃金(最賃)です。「高くない?」と思う人もいるはず…。でもフルタイムで働いて月給17万円、年収わずか200万円程度です。けっして高い賃金水準ではありません。

中小企業の経営にも影響が出ると心配する声もありますが、政府が政策で中小企業をシッカリ支援し、大企業は下請単価等を引き上げれば、時給1000円以上は十分実現できます。実際に先進国では相次いで最賃額が引き上げられており、ヨーロッパ諸国では「1000円以上は当たり前」となっています。アメリカでも引き上げが行われ、850円程度になる見通しです。すでに最賃1000円という声は「世界の大きな流れ」となっています。みんなの声で最賃を1000円以上にしましょう。

今すぐアクセス!

<http://www.saichin1000.jp>

SAICHIN1000



This is SAICHIN1000.

「サイチン1000」とは
最低賃金を時給1000円以上へ
大幅に引き上げるためのネットワークです。

生活できない低賃金と広がる格差



格差と貧困が拡大し、働いても生活できない「ワーキングプア」や、「ネットカフェ難民」と呼ばれる青年たちが急増しています。有期雇用、派遣、請負、パート、アルバイトなど不安定な雇用形態が増えていくなかで、賃金も生活も切り下げられています。格差が広がり続けていくなかで、自分たちの将来に夢や希望が持てなくなっている青年たちも少なくありません。

みんなの声で大幅引き上げを!



最賃は、誰がどの様に決めているのかご存知ですか? 大学教授や弁護士などの公益者、労働者の代表(労組役員など)、経営者の代表(企業・経営団体役員など)の三者による「最低賃金審議会」の議論を受け、労働局長が目安額(最賃額)を出します。生活実態や、類似の労働者の賃金水準、企業の支払い能力などをふまえて決定されます。みんなで「時給1000円以上に!」の声を上げましょう。みなさんの声は、請願書やメッセージをDVDにするなどして、審議会へも提出します。

最賃大幅UPは格差是正のカギ



真面目に働いても生活できない…。これが現在の「サイチン」の実態です。人間らしい「最低限度」の生活を保障すべきなのに「サイテー」な生活しか送れない低賃金となっています。1カ月間フルに働いても「生活保護以下」では、ますます格差が広がります。最賃は、労働者全体の賃金水準を底上げし、はたらく人の生活を改善していくための重要な「カギ」です。

ネットワークに参加して下さい



格差是正を求める声が高まり、最賃法の改正が議論されるなど「時給1000円以上」を実現する絶好のチャンスです。私たち「SAICHIN1000」は、「だれでも、どこでも、時給1000円以上に!」を合い言葉にしてネットワークを広げるための活動を行っています。最賃デーなどのとりくみをはじめ、請願書「一言もの申す!」や映像メッセージなどに協力してくれる方を募集しています。最低賃金の大幅な引き上げの実現をめざすネットワーク『SAICHIN1000』に参加して下さい。